



JAPANESE CULTURAL ASSOCIATION OF MANITOBA INC.

展 望

OUTLOOK 日本語版

2024 年 冬号

72巻2号

JCAM is a federally registered charity # 12064 6021 RR0001

HAPPY NEW YEAR!

明けましておめでとう!



今年もよろしくお願いします



JCAM 理事会 Board of Directors 2023-2024

President:	Kelly Kaita	Alexandra Allen Chaput	Sarah Keating Sangalang
Vice-President:	Debra Takeuchi	Satoshi Takeuchi	Cory Rybuck
Treasurer:	Jim Suzuki	Kyla Letkemann	Junko Bailey
Secretary:	Grant Voakes	Lucy Yamashita	
Past President:	Ken Teramura		

OSHOGATSU お正月 2024

JCAM の新年を祝うためにお越しいただいた会員の皆様、ありがとうございます。大野ご夫妻が作ってくださった美味しいお料理、ブランドやよい先生率いる JCAM 書道クラスによる美しい書き初め、そしてアカマツアカネさん、エリック・ネピア＝ストロングさん、ノゾエユウコさん、日の出太鼓さんらによるパフォーマンスで素晴らしい午後でした。

組織委員会の皆様、サラ・エバタさん、デブラ・タケウチさん、さとし・タケウチさん、ホッペ美和子さん、三好美和子さん、大野サダオさん、ミユキ・カミングさん、ありがとうございました。



最新の情報は JCAM のソーシャルメディアサイトをご覧ください。:

www.jcamwpg.ca

Twitter: @WpgJCAM

Instagram: @jcamincofficial

Facebook: @jcam.inc.org

Youtube: www.youtube.com/channel/UCIM3M-5wl3fVBhNEjgcNkFQ

Tik Tok: @jcamwpg



会長からのメッセージ（原文英語）

ケリー・カイト氏 Dr. Kelly Kaita

早いもので今年も 1 年が過ぎようとしています。COVID 以前の状態に戻ったことで会員数も増え、JCAM の象徴である日本文化と伝統の保存に努める組織に強い関心を寄せてくださる新しい方々も増えました。また、JCAM に新しく入会された方々やそのご家族の参加も増えており、JCAM の将来への関心が高まっていることにお気づきでしょう。JCAM の会員数は、2020 年直前には約 500 名でしたが、現在では 1000 名に近づいています。

私たちの最大のプログラムは日本語学校であり、日本語学校委員会のみゆきカミング、セントルイス宏枝、ケーラー・横堀朋子、弥生ブランド、赤松あかね、石橋めぐみ、マッケンジー・サトウ、コーディネーターの根本摩利、そして有能なスタッフが指導にあたっています。今年の日本語学校の生徒数はこれまでで最大であり、多くの継続される生徒と新入生が参加しています。私たちの言語はマニトバ州の遺産を保存する上で大きな部分を占めているため、これは JCAM の極めて重要な部分です。その他の継続プログラムは、クミコ・ルーシー・ヤマシタのリーダーシップの下で継続する私たち独自のオーロラダンサーです。実際に今年はサイトウ・スミ・キマニボン氏率いる「こどもかえで踊り」クラスがリニューアルされました。提供されている他のプログラムには、ライバック純子氏による箏のレッスン、ブランドやよい氏による書道のクラス、エリック・ネイピア＝ストロング氏による尺八のレッスンが含まれています。伝統料理教室が再開され、ジョイ・レケマン氏とキャロライン・ヤマシタ氏が率いるフード委員会のおかげで大成功を収めました。今年驚異的な成功を収めた新プログラムは、芸術、工芸、ゲーム、趣味、武道の素晴らしい朝を提供するキッズクラブの導入でした。キッズクラブ委員会のデブラ・タケウチさん、サラ・サンガラさん、サラ・エバタさん、ヴァレリー・ホシザキ＝ノルディンさん、パメラ・オカノさんに感謝します。まだ初期段階にある新しいプログラムは、ジュンコ・ベイリー氏、トッド・コガ氏、タナー・ジャングラ氏、その他のナイフ愛好家を含む委員会メンバーからなる日本製ナイフグループです。

昨年の主なイベントには、フォークロラマ、盆踊り、ウィスキーテイスティングナイト、居酒屋ナイト、からころエイサーコンサート、ハロウィーンとクリスマスのキッズパーティー、クリスマスクラフトセール、弁当とラーメンのピクニック、どんぶりフライデー、年次 NAJC の主催などが含まれます。実行委員やボランティアとしてご協力いただきましたみなさん、ありがとうございました。このようなイベントは、私たちのコミュニティをひとつにし、JCAM の将来にとってとても重要なことです。

この 1 年の間にいくつかの変化があったことにお気づきだと思いますが、今後 12～24 ヶ月の間に、さらに多くの変化があります。これらの変更により、センターはみなさんにとってさらに魅力的なものとなるでしょう。

JCAM に対するこれまでの理事会と新理事会の多大な努力と献身に感謝の意を表したいと思います。彼らの献身とスキルは私に感銘を与え続け、私たちの組織を全国的に評価される組織にしています。ありがとう！また、組織の中心人物であるパメラ・オカノ氏にも深く感謝します。彼女は常に最初に来て、最後に帰り、センターが常に完璧な状態に保たれるようにします。

最後に、メンバーとボランティアの皆さんへ、ありがとう！センターはあなたの家です！

JCAM 理事会を代表して、そしてパメラと私自身から、皆様の 2024 年の健康と幸せをお祈りいたします。

ケリー・カイト

JCAM DONATIONS

(October 24 – December 31, 2023)

In Memory of Lillian Shimoda

Glenn & Joyce Matsumoto
K. Lucy Yamashita
Thomas Yamashita
Cheryl & Richard Tyslau
Karen & Ted Stewart-Paley
Miyoko & Joe Okano

In Memory of Mariko Sato

Dean Berezanski
Kelly Koga
K. Lucy Yamashita

In Memory of Akio & Mariko Sato

Sachiko Conway

In Memory of Akio Sato

Linda Schmid

In Memory of Hilary Nordin

Glenn & Joyce Matsumoto

In Memory of the Kawata Family

Yoshimi Takeuchi

In Memory of Tetsuo Odaguchi

Shigeko Sato

In Memory of Yosh Ito

K. Lucy Yamashita

In Memory of Yvonne Zarnowski

Sadao Ono

Christmas Market

Jennifer Hashimoto

Goodwill

Henry Kojima & Vivien Laurie
Andrew Winkless
Harry Tonogai
Kelly Koga
Mona & Ernie Hiebert
Sharon Litzenberger
Terry & Barb Pettitt
Akemi Ebata

In Memory of Asako Taniguchi

Jim Taniguchi

In Memory of Faye and Bruce Hashimoto

Christine & Terry Hashimoto

In Memory of Faye Hashimoto

K. Lucy Yamashita

In Memory of Hiro Hashimoto

Jennifer Hashimoto

In Memory of Mickey Kojima

Glenn & Joyce Matsumoto

In Memory of Toki and Henry Kuwada

Terumi Kuwada

In Memory of Yoshi and Yuri Abe

Yumi Falk

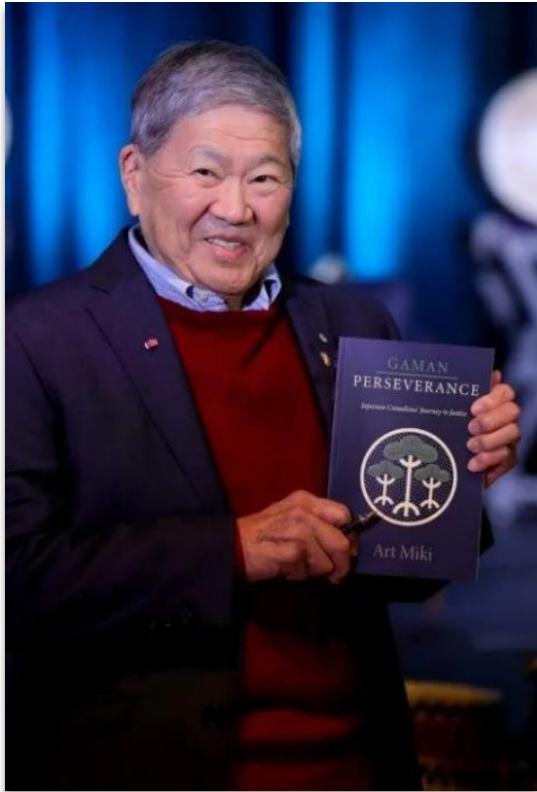
Volunteer Appreciation

Jennifer Hashimoto

JCAM extends its appreciation to all donors for their generosity and support.

JCAM is now able to receive donations through e-transfer – etransfer@jcamwpg.ca

出版おめでとうございます！ **Art Miki** on the recent release of his book
GAMAN/Perseverance – Japanese Canadians' Journey to Justice



「1988 年、全カナダ日系カナダ人協会の会長として、アート・ミキはカナダ政府との和解合意の主要な立役者の一人であり、同年 9 月 22 日にブライアン・マルロニー首相とともに歴史的な文書に署名しました。新著『Gaman - Perseverance, Japanese Canadians' Journey to Justice』の中でミキ氏は、1940 年代のブリティッシュコロンビア州での青少年時代から、戦後のマニトバ州での教育者、そして最終的にはカナダ全土のコミュニティ・リーダーまで、自身の過去の経験や家族の歴史を通して、和解に至るまでの激しい交渉を語っています。先住民コミュニティとの関わりや、歴史的なインディアン居住学校和解協定につながる論争、1990 年代の政治への進出、カナダ市民権裁判官としての役割について詳述しながら、ミキは、自身の経験と深く心に抱く信念に導かれた活動家としての人生を語り、その一部は家族の戦時中の体験によって形作られた。(John Endo Greenaway, JCCA Bulletin-Geppo Vancouver, December 2023)

2023 年 12 月 10 日の「国際人権デー」に、カナダ人権博物館はアート・ミキ著『Gaman - Perseverance, Japanese Canadians' Journey to Justice』の発売を記念したイベントを開催しました。このイベントは、在カナダ日本国大使館（山内寛二大使）および在カルガリー日本国総領事（渡部隆彦氏）のご厚意により、CMHR およびマニトバ日本文化協会の協力により開催されました。マニトバ州副知事のアニタ・R・ネビル名誉大臣、経済開発・投資・貿易・天然資源大臣のジェイミー・モス氏、CMHR の CEO イシャ・カーン氏が出席しました。

この感動的な回想録は、マクナリー・ロビンソン、カナダ人権博物館ギフトショップ、チャプター、およびアマゾン・カナダを通じてオンラインで入手できます。

Photos by CMHR Ruth Bonneville



ホライズンクラブニュース

Akemashite Omedeto gozaimasu! Happy New year!

2023 年は活動が本格的に再開され、多忙な年となりました。私たちは BC Redress Legacy Fund からの資金提供を受けて、外出できない方のための弁当プログラムや活動的な参加者のための運動時間など、生存者のための新しいプログラムを追加できたことをうれしく思います。また、イヌイットアートギャラリーやリーフバイオームガーデンへの旅行も手配することができました。12 月、幹部は世代間ウェルネスの流れに基づいて、ホライズンクラブが来年もこれらのプログラムを提供し続けることを申請しました。

バンクーバー在住の日系カナダ遺産協会事務局長スザンヌ・タバタ氏は、このプログラムで利用できる基金の概要を説明しました。JCAM の多くのメンバーが、生存者のために指定された基金について学ぶために集まりました。遺族基金は新年にウェブサイトと対象者の申請を支援する支援員チームを開設する予定です。

健康で豊かな 2024 年を楽しみにしています。毎週のランチは 2 月 7 日水曜日から再開します。ホライズンクラブへの参加、ランチの準備の手伝い、プログラムへの参加に興味がある場合は JCAM 事務局までご連絡ください。お待ちしております。

日の出太鼓ニュース

この冬、日の出太鼓はライブと新しい技術の習得に忙しかったです。次に私たちの練習を耳にするときは、太鼓の伴奏に笛が聞こえてくるかもしれません。今シーズンの特筆すべきパフォーマンスは、カナダ人権博物館でのアート・ミキの新刊発表会でのフル・アンサンブル・ショーだった「Gaman - Perseverance: Japanese Canadians' Journey to Justice」であるアートの業績を記念して、元気太鼓もステージに上がり、「阿修羅」と「山童」を演奏しました。グループ全員が一堂に会し、一つの空間で多くの太鼓奏者のエネルギーを感じることができたのは素晴らしいことでした。

今年も一年、和太鼓と共に過ごせたことを祝して、HT では初心者クラスと定期練習で忘年会を行いました。ピギナークラスの最終回には、新旧の太鼓奏者が参加し、「まつり」を熱演しました。今年最後の HT の練習では、元気太鼓と演奏グループが交代で演奏し、グループの見習い 2 人が見習いプログラム卒業を記念して「暁」を 2 人用にアレンジしました。1 年間の見習い期間を経て、2 人は正式に芸能グループのメンバーとなりました！ 新年度、日の出太鼓では初心者向けのワークショップやクラスを開催する予定です。太鼓を習



いたいとお考えの方は、ウェブサイト、または info@hinodetaiko.ca までご連絡の上、日の出太鼓友の会メンバーリストへの登録をお願いいたします。2024 年に向けて、皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます！

2024 年度ハロルド・ヒロセ奨学金受賞者のみなさま、おめでとうございます！



Kevin Hearty

マニトバ州ウィニペグで生まれ育ったケ빈は、誇り高き日系カナダ人 4 世です。ケ빈の祖父、ジョージ・ミヤケと曾祖父母、タカハル・ミヤケとナミエ・ミヤケは第二次世界大戦中、BC 州ヘイニーの自宅から強制的に追放され、マニトバ州ポーテージ・ラ・プレリー近くのテンサイ農場で働くために移住しました。

ケ빈はカナダ軍に勤務した退役軍人です。兵役を経た後、マニトバ・ジャスティス・マニトバ保安局に保安官として入社した。2017 年、ケ빈はプライマリケア救急医療の証明書を取得してレッドリバーポリテックを卒業しました。その後、彼は航空衛生兵として数年間勤務し、マニトバ州共同医療サービスの初期対応者として北部地域社会にサービスを提供しました。現在、ケ빈はカナダ先住民サービスとファースト・ネーションのイヌイット保健支部に請負救急救命士として雇用されています。

ケ빈は現在、オランダ大学に在籍し、高度医療救急医療 (ACP) の大学院修了資格取得を目指しています。彼はマニトバ州心臓脳卒中財団で医療従事者向けの応急処置/基本救命トレーナーとして、またカナダスカウトの心肺蘇生/安全トレーナーとして、自らの時間と奉仕をボランティアで提供してきました。

ケ빈の家族は生涯にわたって JCAM の会員であり、サポーターです。彼は毎年家族と一緒にピクニックに参加したことを良い思い出にしています。ケ빈は叔母のレア・ミヤケと JCAM のパメラ・オカノのあらゆる支援と指導、そして医療分野でのケ빈の実践を促進するのを支援してくれたハロルド・ヒロセ奨学金委員会に感謝したいと思います。



Zen Kennedy

Zen は日本の鹿児島で生まれ、6 歳まで鹿児島に住んでいました。彼はカナダに移住し、そこで母親と父親は、JCAM の語学クラスやその他の活動に参加することで彼に日本の伝統をしっかりと保持させようと努めました。彼はマイルズ・マクドネル大学に通い、そこで複数のスポーツをプレーしました。

現在、彼はサンボニファティ大学の大学 1 年生で、すべてフランス語で経営学を学んでいます。

彼はギターを弾いたり、音楽を勉強したり、自由時間にはスケートボードをしたりするのが好きです。

Zen は、勉強に集中し、将来の学業やキャリアで日本語を活用できるようにハロルド・ヒロセ奨学金の受給者として彼を選んでくれた JCAM 奨学金委員会に感謝しています。



JAPANESE
CANADIAN
LEGACIES

JC レガシー記念碑データベース・プロジェクト

州都ビクトリアでは、1940 年代に土地を剥奪され、抑留され、強制移住させられたすべての日系カナダ人を讃える記念碑の建設が計画されています。名前を集める調査はビクトリア大学で行われており、プロジェクトディレクターのマイケル・エイブ氏の指導の下、2024 年 1 月 31 日までに完了する予定です。この記念碑は日系カナダ遺産協会の主要な取り組みであり、市民サービス省を通じて管理されます。

私たちのリストを可能な限り正確なものにするために、引き続き皆様のご協力が必要です。データベースのスペル、脱落、場所を確認し、このリクエストを他の JC の親戚や友人と共有してください。

Web サイトへのリンクは <https://hcmc.uvic.ca/project/monument/index.html> です。

Shift キーを押しながらブラウザのリロード ボタンをクリックして、以前にアクセスしたことがあるページを必ず更新してください。

ニックネームではなく正式な名前であれば、英語と日本語の名前を歓迎します。出生証明書などは送らないでください。法的文書や墓石などに記載されていることを知らせてください。必要に応じて、死亡記事へのリンクや新聞の死亡記事のスクリーンショットを送信できます。

また、あなたの家族が故郷を追われた地域を再確認するようお願いします。多くの場合、管理者ファイルには複数の場所が報告されています。根こそぎにされたときに彼らがどこに住んでいたかを必ず私たちに確認してください。

追放当時日本に家族がいたのに帰国できなかった人もたくさんいます。私たちにはこのような状況にあったすべての人物を特定することができないため、完全な名前リストを作成することはできません。私たちはこれらの人々をグループとして称える方法を検討中ですが、残念ながら名前の一部のリストを壁に追加することはありません。

記念碑データベース内の変更が必要な情報は、2024 年 1 月 23 日までに Monument@jclegacies.com に送信してください。現時点では、Landscapes of Injustice データベースを調整することは当社の範囲およびリソースの範囲外であることに注意してください。

ありがとうございます。

Michael Abe、プロジェクトディレクター

この記念碑の夢とビジョンは、主に海岸沿いの都市、町、村に定住した日系カナダ人の起源の物語を包み込むことです。壁に刻まれた触覚の名前は、個人や家族、そして強制移住、資産の押収と強制売却、投獄、抑留、永久剥奪、そして二度の避難の波が起こる前に彼らがどこに住んでいたかを認識するのに役立ちます。私たちは、人々が記念碑の名前とその位置を検索できる、このプロジェクトのデジタル版ができることを願っています。

– Susanne Tabata, CEO JC Legacies Society

戦争から友情へ：アレナ・タカツ（マツオ）とアイリーン・ロイの出会い
ウィニペグのラ・リベルテ新聞（2023 年 11 月）から翻訳
オフフェリー ドワロー脚本の作品

Photo courtesy of Philippe Sabourin



アレナ・タカツさんとその家族は、第二次世界大戦中にマニトバ州に

来た百数十人の日本人家族の一員です。10歳で到着した彼女は、フランス系マニトバ人のアイリーン・ロイと友達になった。それ以来、彼らは二度とお互いを離れることはなかった。

どちらも現在 91 歳。しかし、イレヌ・ロワの2人の子供、リュック・ロワとモニク・ロワによれば、一緒に集まっているのは2人の幼い子供たちだという。アレナ・タカツはウィニペグの自宅に住み、イレヌ・ロワ（旧姓カテリエ）はサン・マロのシャレ・マルーアンの家に住んでいる。すべてが彼らを引き離れたとすれば、1942 年にふたつの家族が再会するのは不幸な偶然である。

1941 年 12 月の日本による真珠湾攻撃の後、カナダ政府とカナダ国民の一部は日本の侵略を恐れ

た。カナダ、主に BC 州に定住した日系人に対する不信感が広がっていた。この不信感が人種差別政策の確立につながった。

1942 年、連邦政府は誰でも国内どこへでも移動させることができる命令を公布した。この命令は広範囲に及ぶが、主に日系人を対象としている。収容所に閉じ込められる者もいれば、マニトバ州の甜菜農場で働く機会を与えられる者もいる。アレナ・タカツさんの家族がそうだ。

アレナ・タカツの家族は 1942 年 4 月 19 日、当時の他の家族のようにほとんど何も持たずに、列車でマニトバに到着した。「持っているものはすべて処分しなければなりませんでした。荷物は何キロまでしか持っていけませんでした。だから、実質的にすべてを捨てて、一部は売ったけど、残りはそこに残った。両親にとってはとても悲しいことだった。美しいもの、食器、本などを残してきたのだから。両親にとって本当に悲しい時間だった。でも、私はまだ 10 歳だったから、その状況がどれほど深刻なものなのかわかっていなかった。」

アレナ・タカツは列車の旅で体調を崩したことを覚えている。「列車内は清潔ではなく埃っぽかったから。ひどかったのです。」

/ La Rochelle

ウィニペグに到着したアレナ・タカツとその家族は、今はもう無いホテルに滞在していた。数日後、イレヌ・ロイの父親であるルシアン・カテリエが家族全員を迎えに来て、新しい生活を始めるために必要なものをすべて与えてくれた。「彼は私たちを家に連れて帰り、必要なものを与えてくれました」。他の家族とは違い、アレナ高津はラ・ロシェルに到着したとき、ある種の平穏を見つけることができた。「ラ・ロシェルでの生活は本当に楽しかった。アイリーンの母、ブランシュのことはよく覚えている。彼女は私を身内のように扱ってくれた。とても優しくかった。カテリエさんとても優しくかった。私たちを大切に扱ってくれる家族で、私たちはとても幸運だった。すべての家庭がそうだったわけではありませんから」

イレヌ・ロイとアレナ・タカツはここで出会った。「私の父、ルシアンは、彼らが尊厳をもって暮らせるようにと家を与えてくれた。私たちは同じ年だったから、一緒に学校に通った。私たちはいつも二人でした」。両親がミドルチャーチに引っ越したときも、アレナは私たちと一緒に留年した。私たちは一緒にいてとても楽しかった」。

ラ・ロシェルに来てから5年後、アレナの両親である俊介とタツは、父親の転勤のためにミドルチャーチに引っ越してきた。アイリーン・ロイは今でもある逸話を覚えている。「私はミドルチャーチまでバスで行かなければなりませんでした。バスでミドルチャーチまで行かなくちゃいけなかったの。」

私は歩いて行きました。途中、誰かが私を車に乗せてくれて、突然、物干し竿にアレナのドレスが干してあるのが見えたの！今思えば、よく両親はあんなことをさせてくれたなと思う（笑）

しかし、ミドルチャーチでの生活は決して楽なものではなかった。「私たちは土間のある馬小屋に住んでいました。私たちが住んでいたのは馬小屋で、床は土間でした。流しのようなところにストーブが置いてありました。ひどい臭いだった！そこで寝なければならなかった。2、3ヵ月後、父はもうそこには住めないと決めた。それで私たちは出て行った。何年もの間、ミドルチャーチのこの場所を通りかかると、のどにしこりがあった。」

/ A Timeless friendship

アレナ・タカツとアイリーン・ロイの友情は、年月が経っても途切れることはなかった。それぞれが子供と夫に囲まれた生活を送っている。しかし、アイリーン・ロイが語るように、二人は常に顔を合わせようとしてきた。「私たちが家庭を築いていた頃でも、私たちはいつもお互いに最低限会うようにしていました。でも、それぞれが子供や家族のことでとても忙しかった。でも私たちは、冠婚葬祭を問わず、どんな大事なときでもいつもお互いのそばにいたのよ」。



アレナ・タカツはこう付け加えた：「私たちはよく電話をして、できるだけ頻繁に会うようにしていた。私たちが望んでいたほど頻繁には会えなかったけど。でも、それは良かった。アイリーンは私の大切な友人の一人です。私たちには特別な絆がある。言葉を交わさずとも理解し合える。彼女は強くて立派な女性です。」

今でも、アレナ・タカツとアイリーン・ロイは年に1度会っている。アイリーン・ロイが説明するように、そのたびに別れはつらい。「会うたびに、時間が過ぎるのが早すぎる。別れるのはいつも辛い。」

The Takatsu family (L-R): Don, Tatsu, Rosa, Alena, Henry, Shunsuke

JCAM Calendar of Events 2024

Mark the following dates on your calendar and keep an eye out for JCAM email updates for each of these events PLUS more!

Sunday, January 28:	Ramen Takeout
Friday, February 2:	Donburi Lunch
Saturday, February 10:	Makunouchi Bento takeout
Sunday, February 25:	Ramen Takeout
Friday, March 1:	Donburi Lunch
Saturday, March 9:	Makunouchi Bento takeout
Friday, April 5:	Donburi Lunch
Saturday, April 13:	Makunouchi Bento takeout
Sunday, April 28:	Things Japanese Sale
Sunday, July 21:	JCAM Picnic (St. Vital Park)
Sunday, August 4 – Saturday, August 10:	Folklorama Japanese Pavilion

IT'S BACK! JOIN US FOR THE ANNUAL

JAPANESE *Picnic*

Sunday, July 21st, 2024

10:00am - 1:00pm

ST. VITAL PARK

Oak & Aspen Shelters
(near the outdoor washrooms & playground)

BRING YOUR OWN LAWN CHAIRS AND PICNIC LUNCH OF CHOICE!

**KIDS RACES BEGIN AT 10:30AM FOLLOWED BY ADULT RACES AND
SCRAMBLES. DRAWS WILL TAKE PLACE AFTER LUNCH.**

REGISTRATION DEADLINE: JULY 14TH

JCAM ANNUAL SPONSORS 2023-2024

PLATINUM



The Frank H. Hori
Charitable Foundation

SEVA
INTERNATIONAL
CHARITABLE
FOUNDATION



BIRCHWOOD LEXUS

SILVER

align
Chiropractic & Massage Therapy

Dr. Derek Okabe and team

Industrial Automation Medical Medigo
INNOVIAIR
Group

OOMOMO
JAPAN LIVING



JCAM Horizon Club

SSCU

Steinbach Credit Union

BRONZE

OMORI
DIAMONDS

Edokko
Japanese Food




NIKKEI BOOKS
Jennifer Hashimoto

PKF **LAWYERS**

MANITOBA'S LAW FIRM

Andrew Winkless